

幼児にはこんな遊び場を與へたい

東京市公園課長 井 下 清

若草の萌え出て健やかに伸び行くやうな幼児は、何の躊躇もなく朗かで、遊びを楽しむことゝ何か新しいことを知りたいとする外には望はないらしい。

無邪氣な兒童の頭の内にも正しい判断力を神様は與へられてあるから、如何なる遊びを選び如何に何時まで遊ぶべきかは、明瞭な認識は無いであらうが何處からとなく導かれ判断して誤らぬ事は畏しい程である。天性判断力の缺けてをる子供は特に注意すべき素質を持つものであつて、山村水郷に野の鳥の如く成育した兒童に有爲な人物が出てをるに關らず、常に正しい指導を受けた皆の良家の子弟から不良な分子を出すことは、兒童の自然の判断力と自然に親しむ心を助長せずしてすでに固く不透明となつた頭の大人が程度を誤つた指導をした結果ではあるまいか。

兒童の成育は遊びの間に進められるのであるとすれば兒

童の遊び場は善い保育所であり教室でもあるべきことにな
るが、育てるといひ遊ばせるといひ教へ導くといふも要す
るに兒童が持つ天來の正しかるべき本質を誤らず助長せし
めることであつて、外形的にも内容的にも自然の手に愛ま
れることを原則とすることが、最も善いことではあるまい
か。今日の我々が誇る文化は我々の祖先が自然兒として野
に山に育ぐまれた力によつて生れたことを考へたい。

人の技巧や理論でなく自然に親しみ其内に自由に遊ぶこ
とが肉體的にも精神的にも或る力を養ふものであることは
考へられもし、又主張されもすることであるが、此れも何
時も机上論で終る憾がある。

我々の反面には如何にしても切離すことの出來ぬ迷信と
誤りと知りながら其れに曳かれ行く蒙念と我執がある。自
然の力の偉大にして正しく強いことを知りながら人の智慧

を先づ執らんとする自惚がある。兒童遊園に於ても工場の如く整備した物質的な施設と科學的指導法を最善のものと考へることに於ては、實に抜き難いものがあつて、先人が或る施設を考案した時には其れを如何に運用すべきかに就て正しい計畫があり理想がある、或る理論を完成した時に其處に神の如き誠があり熱がある。然し其れが他の人によつて模倣され追従されて行く間に當初の精神は失はれ又は錯誤を來たして似て非なる形體のみが迷信の對象となつて傳播される。こゝに物質文明の缺陷があるのであつて、決して施設と指導法に誤りがあるのではない。

茲に於て兒童遊園に於ても莫大なる經費を要する物質的施設と經營方法よりは自然に歸る方針が最も容易であり、安全且つ善い方法ではあるまいかといふことになる。此の自然を根本とする遊園も實際に於ては其要點を誤られて矢張り死灰の如き理論の一として終るものも無いではない。兒童の保育に最も考慮を拂はるゝ都市生活に於て、自然の内に遊び自然の懷に抱かれんとすることは樹上魚を求むる如きものであつて、結局は芝居の大道具式の自然を強て

作り其れに種々の意義を負はせて最善の遊園として兒童に與へて居る如きは名は自然的であつても精神は物質本位の施設と何等異るところはない。常に傷められることを怖れて居る茂生を作り緑の垣を圍すことが必ずしも自然的ではなく、鐵筋混凝土の建設物と鐵製の遊具が在つても精神に於て自然を基調とするものでありたいのである。即ち形よりは精神に出發したいのである。

兒童遊園より見た自然は第一に直射する太陽の光と清々しい空氣、それは五風十雨時に寒暖あり強弱があることも必要なことであつて、人も草木の如く健康に生育するには陽光と空氣を必要とし又智的開發にも其れに親しましめたのである。

次ぎは植物殊に樹木の自然力である。植物は其成長に必要な榮養の爲めに我々に有害な炭酸を空中から、有機分解物と過剰水分を他の養分と共に地中から吸収し、我々に必要な酸素と水蒸氣を空氣中に放散する。其密生する枝葉は器械的に空氣中の埃煙を濾過し美しく涼しい綠蔭を作つてくれる。植物の生長作用は多量の熱量と陽光を消費するの

で附近を冷涼にして強烈な射光線を浴びても何等苦痛を感じぬことは夏山に遊ぶものゝ實驗することである。又植物の緑の色は眼を通して精神の休養に靈妙な働をする。

自然性を持つ土砂即ち適度の濕氣を保有し夾雜物の無い自然の土砂は遊び材料として極めて平凡であるが、又最上のものである。自然の土砂の爽快味は清淨であること冷やかであること適當の濕氣と其アルカリ性が皮膚に快感を與へ其機能に善い結果を與へることから古來既に土いぢりすることを健康術の一とされてをる。

此の太陽の光線と空氣と樹木と土は必ず正しい状態に在らねば遊園に利用して有効ではない。空氣が埃と塵に汚れ煙で濁つて居つて正しい自然ではない。然し都市生活に於ては其絶對を望むことは難いことであつて比較的純自然の近いことを以て満足せねばならぬ。即ち日光は直射光線を土地にも設備にも兒童にも相當に受け、空氣は埃塵有毒瓦斯と細菌が可及的尠く適度の濕度と溫度を保つことが望ましく常に相當な風があることも必要なことである。植物は日光の直射を遮らず、有害物を發生せず充分昇熱を和げ温

度を保ち、適度の綠陰を作り眼を樂ましめるものであるべく、土砂も常に清潔で必要な濕度を保ち冷氣を保持することとは必極條件である。日光の直射を怖れることは一の誤解であつて強い光線に照射される時に高温を生じ其れが更に幅射されて意外な高度に達するのであるが、其對策として木板鐵板の屋根簀布の覆を設けることは貴重な直射光線を遮つて熱線として幅射せしめるので、一利を失ひ更に一害を増すものである。夏日の強烈な日射を和げるには樹木を利用して光熱を攝取せしめ附近を冷涼にし濕氣を増すことになり何等危惧なく相當の直射光線を享用することに優る方法はない。強烈な陽光に依る眩暈があつても綠葉の間に於ては何の障害を受けることは無い。

斯かる自然を主とする遊園の規模は收容兒童數に比類すべきもので過密な收容は自然味を滅殺する事から同一時間 に於て兒童一人當り最小一坪以上の自由廣場と其半量づゝの遊具設備地と休養樹林地を與へたい。自由廣場は種々の集團遊戲、自由遊戲の地であつて毬一つ旗一本其れに箇の一つもあれば何等近代的遊具が無くとも善き遊園として

兒童に倦怠を感じしめることなく活用される。其他に若干の孤立樹を周圍に、自然味の溢れた樹林が必要であるが、廣場の内に多くの樹木を置くことは遊戯の障害になり貴重な日光を遮ることになる。廣場に圓形其他の輪廓線を作ることも全く無用の施設であつて極めて自由なことが、望ましい。地盤は天然の壤土の表面を粗砂で仕上げたものが最も善い。遊具の設備は利用する兒童に應じて適當なものを選ぶべきであるが、變つた種類を多くすれば兒童の誘致力は増すが危険が伴ひ自然から遠ざかる傾があるので、普通の場合には大小のブランコ、ジャングルジム、滑臺、シーソーなどで充分であらう。砂遊び場は縁の無い盛上げた砂の山が最も善いが狭い處では砂箱にするのも致し方がない。但し樹木又は屋根を以て覆ふ事は最も悪いことであつて、毎日砂を清潔に耕し、飾ひ、適度の濕氣を與へることが必要である。

休養樹林地は森の中の遊び場であつて、これを博物教材として趣味性涵養の園藝場とし、休養地としての芝生とせんとすることは二兎を追ふものであつて、其れ等は遊園に連續して別々に設くべきである。兒童とても氣持のものであつて盛んに遊戯をする時に花を見、珍らしい植物を覚え

んとすることは不可能なることである。芝生の遊園は別に朗かな休養地として考へるのであつて休養樹林とは云へ遊園内に於ては遊戯によつて荒されることを怖れる種類のものでは置くべきでない。

樹下を利用する樹木としては樺、篠懸木、刺槐等が適當であつて周圍の叢林としては椎櫟、冬青、楠等の常綠樹に楓類櫻等を配し下草に青木、黃楊、茶梅などの常綠灌木と日射の有る部分には八仙花、木瓜等の花木を植込むがよい。若し叢林と遊戯地との距離が尠くして柵を必要とするなれば鐵パイプ細丸太で柵を設けることが危険が尠い。

兒童遊園の自然性は其管理方法にある。管理指導者が兒童の持つ素質を善く導き自然の事物を利用することが原則であつて、兒童を物質視せぬことは當然である。又自然味を常に横溢せしめること、清潔を保つこと殊に濕氣を保有することを見逃してはならぬ。乾燥は清々しさを失ひ溫度を上昇し埃を生じ地盤の彈力を失ふ。

最も簡易な善い兒童遊園は自然を正しく利用することであつて、面積の狭い場合も其精神に於て自然を理解し利用することが根本であり貴いことであると思ふ。